［広報］ 鮫川村広報紙

さめがわ

4
2007 No. 636
平成19年４月１日発行



■特集 平成19年度当初予算
むらづくり

■ズームイン 緑のふるさと協力隊活動報告
鮫川村×農×大草

■行政情報
出産育児一時金受取代理制度が始まります ほか

■クローズアップ
47人の健康サポーターが誕生

■トピックス＆インフォメーション
子育て支援 ほか

■ほっとニュース
村内小・中学校で卒業証書授与式
エゴマ鶏試食会 ほか

［表紙写真］
中学生による舘山公園記念植樹
（３月20日／裏面に関連記事）

特集　平成19年度当初予算

むらづくり

最小の経費で最大の効果を…

平成19年度の村づくりがスタートしました。村では厳しい財政状況の中、「最小の経費で最大の効果」を念頭において、さまざまな事業に取り組んでいきます。

今年度は、一般会計が25億8千700万円、特別会計が16億5千868万円、総額42億4千568万円の予算となりました。

昨年12月の議会で条例改正し、従来の特例措置ではなく本則を改正した特別職給料の減額（村長30％、助役〔4月より副村長〕・教育長20％）や議員報酬の減額（25％）をはじめ、職員給与の特別勤務手当全額カット、管理職手当20％カット、通勤手当（16キロメートル上限）50％カット、住居手当の持家全額カット（借家は50％カット）などによる人件費削減のほか、事務事業の見直しを一層進め、経費削減に努めていきながら、少ない財源を有効に活用し、元気の出るむらづくりを進めていきます。


幼稚園卒園式（3月23日）

一般会計

【歳入】

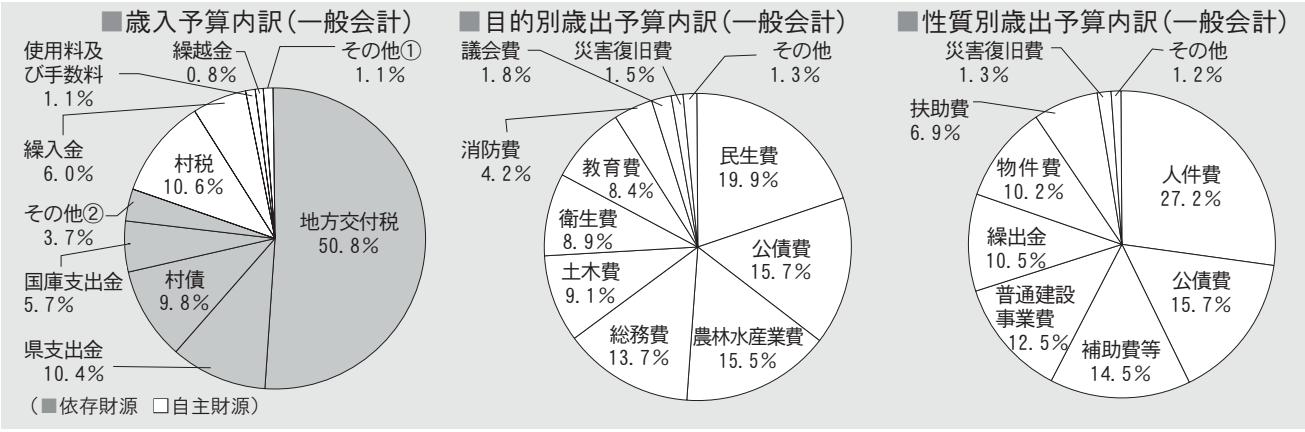
地方交付税が全体の5割超に

歳入（収入）のトップは、地方交付税（全国の自治体が一定の水準で事業が行えるように国から配分されるお金）の13億1千397万9千円で、歳入全体の50・8％を占めています。地方税交付税の補てん措置の臨時財政対策債を含めて前年度と比べると、2千140万7千円（1・5％）の減額となり、自主財源（村が自分の手で確保できるお金）が乏しい本村にとって厳しい予算編成になりました。

自主財源では、村税が2億7千358万7千円で、前年度と比べ2千787万8千円（11・3％）の増額となりました。これは、国から地方への税源移譲に伴う税制改正により、村民税の個人の所得割が大幅に伸びたことによりますが、一方では、地方譲与税が3千100万円（40・2％）減少しています。

【歳出】

農林水産業費が増加



全会計総額　約42億4,568万円

[対前年度比527万3千円（0.1%）減]

次に歳出予算を見てみましょう。

目的別では民生費が5億1千562万7千円(19・9%)と最も多く、次いで公債費の4億6221万1千円(15・7%)、農林水産業費の4億42万9千円(15・5%)、総務費の3億5千424万1千円(13・7%)、土木費の2億3千479万1千円(9・1%)と続いています。

農林水産業費が5千274万円(15・2%)増えたのは、林道関口鹿角平線改良舗装事業や、うつくしま良質堆肥生産流通事業などの新規事業によります。また、土木費が、8千414万2千円(26・4%)の減額となったのは、村道寅卯平富田線改良事業が前年度までで完了したためです。

一方、性質別では、人件費が7億4597万5千円(27・2%)と最も大きくなっていますが、前年度と比べて3千468万9千円(4・7%)の減額となっています。次いで公債費の4億6221万1千円(15・7%)、補助費等の3億7千451万円(14・5%)、普通建設事業費の3億2千443万7千円(12・5%)の順に続いています。

特別会計
全体で4%の伸び

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で行うために、独立して設けた会計をいいます。平成19年度は、国民健康保険(事業勘定・直診勘定)、老人保健、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学校給食センターの8つの会計で運営します。

これら特別会計予算の総額は16億5千868万円となり、前年度に比べ6千372万7千円(4・0%)の増額となりました。

このうち、国民健康保険特別会計(事業勘定)が、前年度と比べ5千900万円(14・0%)の増額となったのは、国保の制度改正に伴い、保健財政共同安定化事業が新たに出てきたことによります。

また、交流施設特別会計が1千17万7千円(30・2%)の減額となったのは、「ほっとはうす・さめがわ」本館の施設建築事業に係る借入金(起債)の償還が完了したことによります。

■会計別予算の状況

会計別		予算額	対前年度比	伸び率(%)
一般会計		25億8,700万円	△6,900万円	△2.6
特別会計		16億5,868万円	6,372万7千円	4.0
国民健康保険	事業勘定	4億8,100万円	5,900万円	14.0
	直診勘定	8,500万円	140万円	1.7
老人保健		5億2,111万2千円	△414万4千円	△0.8
簡易水道事業		7,150万円	550万円	8.3
村営バス事業		688万7千円	210万3千円	44.0
集落排水事業		3,335万円	△104万6千円	△3.0
介護保険		2億9,630万1千円	1,410万1千円	5.0
交流施設		2,350万円	△1,017万7千円	△30.2
学校給食センター		1億4,003万円	△301万円	△2.1
予算総額		42億4,568万円	△527万3千円	△0.1

■一般会計歳入予算の状況

区分		予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源		5億591万1千円	19.6	1,377万円	2.8
	村税	2億7,358万7千円	10.6	2,787万8千円	11.3
	繰入金	1億5,436万2千円	6.0	△1,662万6千円	△9.7
	使用料及び手数料	2,963万2千円	1.1	△502万9千円	△14.5
	繰越金	2,000万円	0.8	0円	0.0
	その他①	2,833万円	1.1	754万7千円	36.3
依存財源		20億8,108万9千円	80.4	△8,277万円	△3.8
	地方交付税	13億1,397万9千円	50.8	△804万7千円	△0.6
	村債	2億5,380万円	9.8	△4,220万円	△14.3
	県支出金	2億6,915万6千円	10.4	6,862万2千円	34.2
	国庫支出金	1億4,694万4千円	5.7	△6,110万5千円	△29.4
	その他②	9,721万円	3.7	△4,004万円	△29.2
計		25億8,700万円	100.0	△6,900万円	△2.6

※その他①＝分担金及び負担金、財産収入、寄附金、諸収入／その他②＝地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

■一般会計目的別歳出予算の状況

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民生費	5億1,562万7千円	19.9	1,079万6千円	2.1
公債費	4億622万1千円	15.7	81万7千円	0.2
農林水産業費	4億42万9千円	15.5	5,274万円	15.2
総務費	3億5,424万1千円	13.7	△505万7千円	△1.4
土木費	2億3,479万1千円	9.1	△8,414万2千円	△26.4
衛生費	2億2,982万2千円	8.9	△2,345万2千円	△9.3
教育費	2億1,763万2千円	8.4	△2,350万7千円	△9.7
消防費	1億861万2千円	4.2	△577万4千円	△5.0
議会費	4,661万円	1.8	△588万6千円	△11.2
災害復旧費	3,831万8千円	1.5	1,966万9千円	105.5
その他	3,469万7千円	1.3	△520万4千円	△13.0
計	25億8,700万円	100.0	△6,900万円	△2.6

※その他＝商工費、労働費、予備費

■一般会計性質別歳出予算の状況

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	7億459万5千円	27.2	△3,468万9千円	△4.7
公債費	4億622万1千円	15.7	81万7千円	0.2
補助費等	3億7,451万円	14.5	△545万円	△1.4
普通建設事業費	3億2,443万7千円	12.5	△1,352万円	△4.0
繰出金	2億7,296万3千円	10.5	△2,514万5千円	△8.4
物件費	2億6,266万4千円	10.2	△2,714万6千円	△9.4
扶助費	1億7,696万8千円	6.9	1,833万2千円	11.6
災害復旧費	3,194万6千円	1.3	1,991万9千円	165.6
その他	3,269万6千円	1.2	△211万8千円	△6.1
計	25億8,700万円	100.0	△6,900万円	△2.6

※その他＝維持補修費、貸付金、積立金、予備費

平成19年度当初予算

［第３次鮫川村振興計画］の実現

主な事業概要①

＜農村の再生ビジョン＞
独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現

【環境と健康を食べる】
- ●農産物加工直売事業（施設管理・運営費補助）　３６３万円
- ●学校給食用炊飯設備整備事業（ガス炊飯器、洗米機ほか）［新規］　１７２万7千円
- ●大豆振興対策事業（料理コンクール、大豆種子購入費）　２０３万3千円
- ●エゴマ鶏開発事業　２１８万1千円
  （飼育委託、成分分析、飼育マニュアル作成など）

【農村の景観と文化を生かす】
- ●ふるさと緑の協力隊事業（ＮＰＯを活用した農作業などの援助）　１２３万2千円
- ●森林環境税交付金事業（舘山公園整備、ペレットストーブ購入、県産間伐材利用活用事業）［新規］　1,３１０万9千円
- ●農村体験館整備事業（旧渡瀬保育所の改修整備）［新規］　3,６６７万4千円
- ●定住促進住宅整備事業（空き家住宅改修１棟）［新規］　９１５万1千円

平成19年度予算編成方針

人口と面積を基本に算定する「新型交付税」の導入や、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針２００６」に沿って進められる地方分権改革の中で、本村のような小規模自治体の地方交付税は、今後も減少傾向が続くものと予想されます。

財政的に極めて厳しい状況の中ではありますが、合併せずに自立の道を選択した村民の願いに応えるため、地域の資源を活かした産業の振興や村の未来を担う人材の育成、村民一人ひとりが生きがいを持ち、安心して暮らしていける村づくりを実現していかなければなりません。

第３次鮫川村振興計画の基本理念である「まめなくらしが育む環境を生かしたやすらぎとふれあいの村」の実現のため、すべての事務事業を見直し、費用対効果や必要性、緊急性を検証し、村民の声を反映し、真に必要とされる施策を選別・重点化するなど、限られた財源をより効率的で効果的な活用を図るため、職員が知恵と工夫を結集し、創意工夫に満ちた予算を編成することを基本方針としました。

鮫川村長　大樂　勝弘

主な事業概要②

＜農村の環境ビジョン＞
自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現

【道路網・道路環境の整備】
- ●林道関口鹿角平線改良舗装事業［新規］　5,１６０万8千円
- ●県営農道整備事業負担金　６６６万7千円
  （東白川地方広域農道・東野中部農免農道）

【水を大切にし、環境に配慮した排水の処理】
- ●合併処理浄化槽整備事業（７人槽２０基）　1,２００万円

【その他】
- ●東白衛生組合・東白斎苑運営費負担金　7,１６９万9千円

村民１人当たりに使われるお金は590,774円【△1,158円】です。

一般会計歳出予算額÷平成19年３月1日現在の人口4,379人で計算。【　】内は対前年比。平成18年度は平成18年3月1日現在の人口4,487人で計算。

民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	117,750円【5,420円】
公債費	地方債（村の借入金）を返済するためのお金	92,766円【2,415円】
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	91,443円【13,955円】
総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	80,895円【820円】
土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	53,617円【△17,462円】
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	52,483円【△3,963円】
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	49,699円【△4,042円】
消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	24,803円【△690円】
議会費	村議会運営のためのお金	10,644円【△1,056円】
その他	商工業の振興、災害復旧などのためのお金	7,923円【△5,126円】

今年度はこんな仕事を行います
村のお金の使いみち

主な事業概要③

＜農村の暮らしビジョン＞
みんなが安心して生活できる村の実現

【安心生活ができる公共交通づくり】
- ●生活バス路線運行費　963万2千円
  （福島交通バス運行費補助、村営バス繰出金）

【安心生活を支える情報】
- ●高度情報化事業（白河広域ネットワーク負担金など）　865万4千円

【多様な暮らしの工夫】
- ●公営住宅建設事業（渡瀬団地１棟５戸）　6,371万1千円

【火災と災害への備え】
- ●常備消防負担金　7,805万3千円
- ●消防施設整備事業（小型動力ポンプ更新ほか）　201万5千円

【安心生活ができる保健・医療・福祉の充実】
- ●住民健康診査事業（基本健診、がん検診など）　1,667万1千円
- ●予防接種事業（乳幼児予防接種、インフルエンザなど）　336万2千円

【安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実】
- ●高齢者住環境整備事業（高齢者居住棟建築１棟８室）［新規］　7,420万円
- ●高齢者生活支援事業（緊急通報システム借料、紙おむつ給付）　673万2千円
- ●一般高齢者支援事業（筋力づくり教室など）　708万1千円
- ●後期高齢者医療制度システム改修費［新規］　630万円

【子育て支援体制づくり】
- ●子育て支援事業（２歳未満児紙おむつ給付事業）［新規］　300万円
- ●保育業務　1億2,084万円
- ●こどもセンター費（子育て支援事業、施設・バス運行管理費など）　2,404万円
- ●乳幼児・妊産婦医療費助成　1,114万4千円
- ●幼稚園児教育費　2,380万1千円
- ●放課後児童クラブ事業（運営費）　268万8千円

【障害者の支援体制づくり】
- ●身体障害者施設訓練費、重度心身障害者医療費など　7,758万1千円
- ●障害者施設整備事業（たんぽぽの家施設移転に係る補助）［新規］　1,000万円

【災害復旧事業】
- ●過年度公共土木施設災害復旧事業（２路線６か所）［新規］　3,814万8千円

主な事業概要④

＜農村の人づくりと産業ビジョン＞
地域から世界を見ることができる人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現

【学校教育の充実】
- ●鮫川中学校校舎、体育館耐震診断［新規］　310万4千円
- ●ふるさと後継者育成事業（中学校修学旅行助成）　120万円
- ●小学校教育用コンピュータ更新事業　194万1千円

【健康づくり・自主的スポーツ活動】
- ●ふくしま駅伝大会参加（練習・強化対策費など）　129万5千円
- ●青少年広場トイレ改修事業［新規］　400万円

【安心安全、顔の見える農業の振興】
- ●中山間地域等直接支払交付金事業　1億2,513万4千円
- ●水田作付条件整備事業（暗渠排水）　200万円
- ●稔りの農地再生事業（草地更新）　867万円
- ●肉用牛生産振興事業（輸送経費助成、ヘルパー助成）　120万円
- ●うつくしま良質堆肥生産流通事業［新規］　1,287万2千円
- ●優良牛整備増殖事業（優良牛購入費補助）　105万円
- ●畜産環境保全条件整備事業（堆肥舎など）　592万9千円

【ふるさとの森を守り育てる】
- ●森林整備地域活動支援交付金事業（森林の維持・整備）　208万7千円
- ●松くい虫防除事業（被害木伐倒駆除）　365万円
- ●県単治山施設事業（名下地区）［新規］　247万1千円

【商工業の振興】
- ●商工業振興事業（商工会補助など）　335万7千円

【村の特徴を活かした観光の振興】
- ●観光推進事業（うまいもの祭り補助など）　183万4千円

【その他】
- ●地籍調査事業（前ノ沢地区）　4,160万3千円



平成19年度当初予算

国保　子ども1人につき35万円を限度とした

出産育児一時金受取代理制度が始まります

■問い合わせ　村住民福祉課国保健康係☎４９-３１１３

国民健康保険に加入している被保険者の方が出産したとき、現在、生まれた子ども一人につき35万円の「出産育児一時金」が支給されています。

「出産育児一時金受取代理制度」とは、出産育児一時金を出産費用として、村から医療機関などに直接支払う制度で、出産予定日の1か月前から申請を受け付けます。

申請することにより、出産費用は35万円を限度に（超えた分は自己負担となります。）国民健康保険から医療機関などに直接支払われ、出産費用が35万円に満たない場合は、その差額を世帯主の指定する口座へ支給します。

希望される方は、役場住民福祉課国保健康係にご相談ください。

▼手続きの流れ

1　村住民福祉課に申請書を請求します。

2　申請書に必要事項を記入します。さらに受取代理人の欄に出産予定の医療機関で必要事項を記入してもらい、村住民福祉課に提出します。

3　出産後、医療機関などから村住民福祉課へ分娩費請求書などの写しが送付され、出産育児一時金が支払われます。

年金

安心して学生生活を送るために

学生納付特例制度をご利用ください

■問い合わせ　村住民福祉課国保健康係☎49-3113

学生本人の前年所得が**一定額以下** ※	学生本人の前年所得が**一定額以上**
「学生納付特例制度」により保険料の納付が猶予されます。	保険料納付
この期間は、資格期間には算入されますが受け取る年金額には反映されません。	将来受け取る年金額に反映されます。

※　平成19年度の所得基準…118万円＋扶養親族などの数×38万円＋社会保険料控除など

学生には、学生本人の前年の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が卒業まで猶予される「学生納付特例制度」があります。

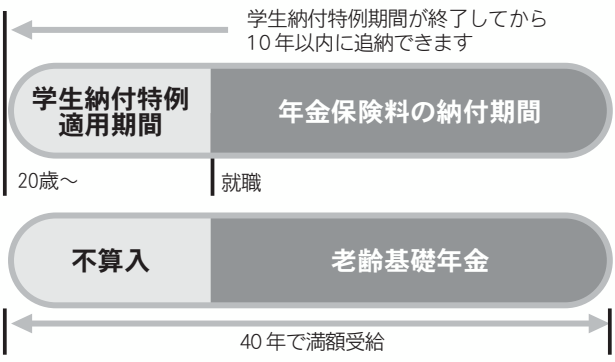
対象となる学生

大学（大学院）や短大、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校などに在学する学生（夜間や定時制、通信課程の学生も含まれます。）

申請する場合の注意点

①制度適用期間は、老齢基礎年金を受けるために必要な期間（受給資格期間）に算入されますが、受け取る年金額には反映されま

学生納付特例制度と老齢基礎年金額の関係



■退職（3月31日付）

▶**赤坂博男**（住民福祉課長） ▶**須藤幸子**（教育課長） ▶**渡辺礼子**（鮫川保育園専門保育士）

■異動（4月1日付） ※（ ）内は旧所属

[課長職]

▶住民福祉課長（議会事務局長〔併任〕監査委員書記）**佐藤文夫** ▶教育課長兼公民館長（教育課長補佐兼学校給食センター所長兼公民館副館長）**森洋** ▶主幹兼議会事務局長〔併任〕監査委員書記（出納室長）**高坂修一** ▶総務課付主幹〔社会福祉協議会派遣〕（住民福祉課長補佐）**北條利雄**

[課長補佐職]

▶こどもセンターおよび鮫川保育園副主幹兼事務長〔併任〕鮫川幼稚園副主幹兼事務長（こどもセンターおよび鮫川保育園副主幹兼事務長〔併任〕鮫川幼稚園事務長）**金澤満** ▶農林課長補佐兼林業畜産係長〔派遣〕土地改良区事務局長（農林課長補佐〔併任〕農業委員会事務局長）**芳賀亨** ▶企画調整課長補佐兼国土調査係長（企画調整課国土調査係長）**本郷秀季** ▶会計管理者兼出納室長（総務課長補佐）**鈴木眞理子** ▶農業委員会事務局長〔併任〕交流施設所長（企画調整課長補佐兼交流施設所長）**小松毅** ▶住民福祉課長補佐兼住民福祉係長（住民福祉課福祉係長）**須藤健** ▶総務課長補佐兼税務係長（総務課税務係長）**石井哲** ▶教育課長補佐兼学校給食センター所長兼公民館副館長（住民福祉課住民係長）**芳賀伊津子** ▶農林課副主幹〔併任〕農業委員会係長（農林課林業畜産係長）**白坂勝徳**

[係長職]

▶総務課財政係長兼出納室〔併任〕議会（総務課財政係長）**鏑木重正** ▶住民福祉課国保健康係長（住民福祉課健康係長）**村山通子** ▶住民福祉課（教育課体育振興係長〔併任〕こどもセンター）**鈴木節子**

[主査職]

▶総務課（企画調整課）**鈴木隆寛** ▶鮫川保育園（鮫川幼稚園）**小針富子** ▶鮫川幼稚園（鮫川保育園）**渡辺明美**

[主任主事職]

▶住民福祉課（農業委員会）**岡部徳子** ▶地域整備課（総務課）**水野亮達**

[主事職]

▶住民福祉課兼こどもセンター（住民福祉課）**中川西ミユキ** ▶企画調整課（地域整備課）**須藤尚紀** ▶総務課（住民福祉課）**本郷睦**

[嘱託員]

▶住民福祉課（こどもセンター）**青戸美枝子** ▶こどもセンター（学校給食センター）**国井小夜子** ▶こどもセンター（教育課）**芳賀義美** ▶教育課（総務課）**鈴木啓枝子** ▶学校給食センター（こどもセンター）**近藤昌子**

村職員人事

せん。

②10年以内に追納すると、通常納付した場合と同じ扱いになります。

ただし、承認を受けた年度から3年度以降に追納する場合は、経過した期間に応じて、当時の保険料に一定率を乗じた金額が加算されます。

③障害基礎年金や遺族基礎年金の受給資格期間に算入されます。

④毎年度申請が必要です。

持参するもの

①在学証明書または学生証（写しでも可）

②印かん（本人が署名すれば不要です。）

年金

平成19年度の 年金額が据え置かれます

総務省の「平成18年度全国消費者物価指数」の公表を受け、厚生労働省より、平成19年度の年金額に関する概要が発表されました。

これによると、18年度全国消費者物価指数の対前年比変動率（年平均）がプラス0・3パーセントになったことや、「対前年度比名目手取り賃金変動率（平成15年度から平成17年度の実質賃金変動率をもとに算出）」が0・0パーセントとなったため、平成19年度の年金額は、平成18年度と同額になります。（これは、物価変動率が名目手取り賃金変動率を上回り、かつ、対前年度比名目手取り賃金変動率がマイナスとならない場合は、年金額は名目賃金変動率で改定することになっているためです。）

なお、国民年金保険料は、毎年280円ずつ引き上げられることになっていますが、平成19年度は240円引き上げられ、1か月14,100円となります。

■**問い合わせ** 村住民福祉課国保健康係☎49-3113

■平成19年度年金額の見込み （月額）

	平成18年度	平成19年度
国民年金（満額の場合）【老齢基礎年金1人分】	66,008円	66,008円
国民年金（満額の場合）【老齢基礎年金2人分】	132,016円	132,016円
厚生年金【夫婦2人分の基礎年金を含む標準的な年金額】	232,592円	232,592円

※厚生年金は、夫が平均的収入（平均標準報酬月額36.0万円）で40年間就業し、妻がその期間全て専業主婦であった世帯の年金額

47人の健康サポーターが誕生

「お達者高齢者」を増やしましょう

■問い合わせ　村住民福祉課49－3112・3113

高齢者を中心とする地区の健康運動普及推進を目的とした村の健康運動推進員（健康運動サポーター）養成講座の修了式は三月四日、村保健センターで行われ、講座を修了した四十七人に健康運動サポーター証が交付されました。

この講座は、成人から高齢者を中心に、生活習慣病と介護の予防を合わせた健康づくりを進める取り組みとして開催されたもので、その背景には、村の高齢者が占める割合の増加（現在は、三〇％で、将来は五〇％になることが予測されています。）があります。

また、「健康日本21」における健康づくりの基本は、「1に運動、2に食事、3に禁煙、最後にクスリ」といわれており、村では、日常生活で減少している運動や身体活動を増やしていくため、共生のまちづくり事業（宝くじ助成金事業）を活用して、養成講座や村民の健康管理システム構築などの事業を進めてきました。

今回の養成講座は、昨年十月から三月にかけて七回行われ、各地区から選ばれた四十代から六十代までの四十七人の方が、健康と生活習慣の関わりや健康チェックの仕方、健康運動、レクリエーションの方法などを学んできました。健康運動サポーターの地域での活躍が期待されます。



健康運動サポーターを育成するために開催された養成講座

■「共生のまちづくり助成事業」とは…

「共生のまちづくり助成事業」は、財団法人自治総合センターが、宝くじ受託事業収入を財源に、高齢者や障害者、女性や子どもなどの社会的弱者にやさしいまちづくりを進める地方公共団体の取り組みに対して助成している事業です。

村では、高齢者を中心とした健康管理システムの構築や健康運動の推進に重点を置き、この事業の助成を受け、「鮫川村お達者高齢者地域づくり事業」を実施。村民が健康運動の機会を増やしていくことができるように、地域の健康運動リーダーを育成し、地域の健康づくりに役立てていきます。

共生のまちづくり助成事業
シンボル「宝っ子マーク」



宝くじは
縁の下の
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

【健康運動サポーターの役割】

こんな運動を紹介します

- レクリエーション・口腔体操
- はつらつ体操（腰痛体操、筋力アップ、ストレッチ）
- ステップ運動
- リハビリ体操　など

こんな時に、お声かけください

- 地域の老人会や組織の会合で
- 友人の集まりやサークルで
- 地区のふれあい広場で
- 健康相談会や栄養教室など

各地区のご要望に合わせて、健康運動の体験の機会を提供していきます。

これからの予定

- 四月～…各地区でどのように健康運動を提供していくか各地区の役員と協議して健康運動推進体制を準備します。
- 体制が整い次第、地区やサークルなどの健康運動の要望を取り入れて、地区の方々と一緒に健康運動を行います。ぜひ、健康づくりや介護予防のために運動してみたいという方はご相談ください。

■各地区の健康運動サポーター紹介（敬称略。◎リーダー、○サブリーダー）

赤坂西野区

◎鈴木　孝志（中）
○石井とよ子（酒垂）
薄葉　正勝（名下）
鈴木　綾子（西）
鈴木啓枝子（中）
高坂マサエ（上）
舟木りい子（岡田）
北條　利雄（岫長）
北條　政子（岫長）
星　　邦子（藪）
増子　　学（前塩倉）
増子　信子（前塩倉）
矢吹さつき（岫長）

西山区

◎大竹　なみ（菅ノ目）
○我妻　久子（落合）
阿久津光市（折戸）
坂本　京子（岩野草）
増子　三代（田中）

赤坂中野区

◎圓谷　玲子（鬼越）
○山本　君江（大塩）
鈴木リキヰ（馬場）
矢吹　堅壽（官沢）

東石区

◎前田　雅秀（官代）
○蛭田ノリ子（広畑）
三瓶　春美（葉貫）
三瓶ゆかり（戸草）
清水　恵子（葉貫）
進士由美子（葉貫）
前田　春江（官代）

渡瀬区

◎赤坂　和子（中野町）
○遠藤サト子（中野町）
金澤　　寿（福原）
芳賀　照美（江竜田）
芳賀ヒロノ（江竜田）
芳賀美智子（西野沢）
蛭田清代枝（中山）

富田区

◎青戸　良一（前沼）
○松本　弘子（鍬木田）
青戸カツ子（前沼）
大橋　君江（前沼）
岡部　キノ（前沼）
円谷　文子（中沢）
戸村　正明（鍬木田）

青生野区

◎生田目清子（青生野）
○長井千恵子（青生野）
穴澤　光明（青生野）

ひだまり荘（窓口）

◎金沢喜美子

健康運動サポーターの合言葉
自分のために・家族のために・地域のために

■「鮫川村お達者高齢者地域づくり事業」は3本柱

①健康運動指導者の養成

健康運動推進員養成講座を開催し、高齢者など村民の方に声かけをしながら健康運動を推進していただける健康運動サポーターを各地区に育成しました。

②健康管理用パソコンおよび健康支援システムの整備

健康管理用パソコンを整備し、健診各種データや介護予防データ、予防接種など健康に関する総合的なシステムを導入しました。今後、生活活改善などが必要な方には、個人に対し経年的な健診データなど出力ができるようになります。

③レクリエーション用具の整備

健康運動と併せて、各地区で活用できるよう整備しました。

風船バレー（ネット、ポール、風船、ビーチボール）、テニスラケット（ラケット、ボール）、ドンパーリレー（棒）

各地区で利用したいときは、住民福祉課にご相談ください。

子育て支援

平成19年度新規事業

村では、新年度から子育て支援のため、新規事業として「2歳未満児の乳幼児への紙おむつ給付」と「妊婦健康診査の公費負担の増加」の2つの事業を行います。

紙おむつ支給事業

若い世代における経済的負担の軽減と乳幼児の福祉の増進を図るため、村内に住所があり、現に居住している2歳未満の乳幼児の親および養育している親族に対し、平成19年4月から月額5千円を限度に紙おむつの購入費用を助成することにしました。

受給者に認定されると、一回の請求につき「紙おむつ給付券」が向こう3か月分交付されますので、村内の取り扱い指定店へ当月分の給付券を提示し、5千円を限度に紙おむつを購入することができます。（5千円を超えた分は自己負担となります。）

この事業の給付を受けるには、申請書を役場に提出し、認定を受ける必要がありますが、該当者には改めて通知しますので、手続きをしてください。

詳しくは役場住民福祉課までお問い合わせください。

■**問い合わせ**　村住民福祉課住民福祉係☎49-3112

妊婦健康診査の公費負担

妊娠中の定期健診は、丈夫な赤ちゃんを産むためにとても大切です。医師の指示を守って必ず受診しましょう。

村では、妊婦さんを経済的に支援するために平成19年4月から「妊婦健康診査」の公費負担回数をこれまでの2回から15回に増やします。

目的　妊娠中の健診費用の負担軽減を図り、積極的に受診しやすい環境を整えて、母体や胎児の健康保持増進のために実施します。

対象者　村内に住所があり、これから出産を予定している妊婦

健診回数　「前期健診」…1回／「後期健診」…1回／「その他の期の健診」…13回

費用負担　村が規定している検査項目については、全額村が負担しますが、その他に医師が必要と認めた検査については自己負担となりますので、検査などを受ける場合は医師とご相談ください。

その他

①3月末までに「前期健診」および「後期健診」がすでに終了している方は「その他の期の健診」のみ利用できます。

②「妊婦健康診査受診票」が新しくなり、すでに交付されている方は再交付となります。

③受診票を未使用の方は住民福祉課まで戻してください。

■**問い合わせ**　村住民福祉課国保健康係☎49-3113



子どもたちの笑顔を支援します（写真はこどもセンター）

●TOPICS

3月９日、東京都目黒区高齢者センター主催のイベントで村農産物加工・直売所「手･まめ･館」の農産物などの販売と、本郷まさ子農林課農業振興公社準備室長による講演会が行われました。この講演会に参加された目黒区在住の須藤ふみ子さん（東京鮫川会役員・須藤春夫さんの奥さん）より、村に感想が寄せられましたのでご紹介します。



鮫川村の手・まめ・館が、高齢者事業団の主催で目黒に来るということを広報で知り、楽しみに出かけました。参加者は高齢者がほとんどでしたが、会場はいっぱいでした。

まず、村の様子がビデオで紹介され、館長さん（本郷さん）の講演に入り、内容がとてもひきつけられるお話で、みんなうなずきながら聞いておりました。

鮫川村の村づくりは、人口が減少していく中で、村民がどうしたら健康で活気のある生活をすることができるのかが、出発点であったとのことですね。この取り組みは、①「高齢者が楽しく豆づくりをしながら健康になれる」②「豆は健康食品であり、家族で食べて健康になる」③「豆づくりはお小遣いにもなり、生きる励みになる」、そしてこの取り組みが発展し、④「子どもたちの給食には安心・安全な地場産の食材を使うことができるようになった」ことなど、都会に暮らす者にとりましては、大変うらやましいお話を伺うことができました。

医療や福祉が切り捨てられていく現在の社会の中で、経済性や環境、命と暮らしの問題から考えても素晴らしいと感じました。東京では、大型開発や幹線道路が次々と計画され、緑が減り、環境が危ぶまれる中、鮫川村のような村づくりこそ、将来生き残って自立していける村であると感じました。

また、友だちをときどき誘って村を訪れ、ほっとはうすに宿泊して村内を見物していますが、村の四季折々の美しさはどこの観光地にも劣らないと思います。友だちも鮫川村をとても気に入り、ときどき孫を連れたり、友だちを誘って出かけたりしています。農産物もおいしいと注文しています。

今、まわりでは鮫川村がちょっとした話題になっています。私自身、夫のふるさとである鮫川村の魅力をこれからも宣伝していきたいと思います。今後の発展を心より祈っています。

職場の受動喫煙防止推進のために
(株)オーゼキで健康教室を開催



平成18年４月に策定した「鮫川村地域受動喫煙防止推進計画」に基づき、２月13日に株式会社オーゼキにおいて、「たばこに関する健康教室」を行いました。

健康教室では、県南保健福祉事務所の鈴木主任医療技師より、たばこに含まれる有害物質や受動喫煙の影響、禁煙サポートなどについての講話があり、42人の職員の方が学習しました。

■健康教室の感想（株式会社オーゼキ担当中川西宏幸さん）

「今までたばこは体に悪いということはわかっていましたが、今回のお話を聞いて、吸わない周りの人にもかなりの影響を及ぼすということがよく分かりました。お話を聞いてから、『たばこをやめてみようかな。』という職員の声も聞かれるようになりました。今後も職員の理解と協力を得ながら、職場で受動喫煙防止を推進していきたいと思います。」

村では、今後も地域や職場などでの受動喫煙防止推進のための出前講座を予定しています。希望される会社（事業所）は、役場住民福祉課までお問い合わせください。

■問い合わせ　村住民福祉課国保健康係☎49-3113

緑のふるさと協力隊活動報告（文／大草鮎子）

鮫川村×農×大草



緑のふるさと協力隊として昨年４月に鮫川村にやってきた大草鮎子さん。３月15日、無事１年間の任務を終え、村を旅立ちました。

広報さめがわでは、毎月「まめ通信」と題して、彼女の鮫川村での体験記をお伝えしてきましたが、今回、１年間の活動をまとめた報告書が完成しましたのでご紹介します。彼女が肌で感じた鮫川村はどうだったのでしょうか？

1　協力隊参加の動機

緑のふるさと協力隊として、村でお世話になっていました大草鮎子です。一年間、皆さま本当にお世話になりました。村を離れるとき、壮行会で一度だけ泣きました。それは離れることが寂しい、というよりも、ありがとうの涙でした。暖かい方々に支えられ、新たなことを知り、感じてきた体験はこれからの自分の人生の糧となっていくことでしょう。人と自然の全てに感謝の気持ちでいっぱいです。何も分からない若者を受け入れ、日々を共に過ごさせていただきまして、本当に本当に、ありがとうございました。

私は、「自然と密着した暮らし」を知りたくて、協力隊に応募しました。大学ではまったカヌー、大学の授業を通じて学んだ農村文化、ここ数年、自分の根幹にはずっと自然への興味がありました。しかし、小さい頃から自然と関わって生きたいという思いはありましたが、今まで、具体的に今後に繋がるような経験を積んでいなかった私。自然といっても分野は広く、関わり方は沢山あります。

そうして考えていたところ、たまたま協力隊のポスターを見かけたことをきっかけに、どうせなら興味あるフィールドにどっぷりつかろうと思い、鮫川に来て、村で一年を過ごしました。「何を知りたいのか」「その後どうしたいのか」といった明確な目標を持っていたわけではなく、いわば行きたい方向へ進むための第一歩にしようと考えていたのがこの一年でした。

2　鮫川村での活動内容

①手・まめ・館

活動は、村直営の直売所「手・まめ・館」を拠点とし、村内各地を走り回らせていただきました。村づくりを進めていくうえで、手・まめ・館は、情報発信地であり、村内外の人の交流の場であり、村内の循環を生み出す場です。そんな手・まめ・館が「行ってきます。」を言える場所として過ごし、村が進もうとしている方向をとても近くに感じ過ごしてきました。「農業を守ろう。」「村のよさを見直そう。」そういった方向に今まさに動き出している村を、完全に内部でもない、でも外部でも



ふるさと春まつり（５月）



中沢集落のめん羊小屋の前で

ないという特別な視点から見ることが出来たのは非常にいい経験でした。

村の暮らしを楽しくしたいと、頑張る人たちの存在なくしては、今あるものもこれからのものも守れないのではないかと、今動き出している「村」をわくわくしながら見ていました。スタッフの努力により少しずついろいろな繋がりが生み出され、時代に合った、村が進むべき方向が少しずつ開拓されていく現場を間近で見られたことは、自分なんかが見ているだけではもったいないと心から感じたものです。

手・まめ・館を拠点とした協力隊としての活動は、活動と日常の境が明確でなく、自分で得たつながりから、農業や地域の祭り、その他面白そうなことに関わっていくというスタイルでした。

多くの人と関わり、話し、共に汗をかき、同じ窯の飯を食べてきました。人生で一番多く他人の家のご飯を食べることが出来た一年だったはずです。偶然の繋がりから生まれたさまざまな人との交流によって、さまざまな視点から村での生活を見ることができ、そこで、今まで気づかなかった大切なものたちにも気付くことが出来ました。

②地域の活動

誘っていただいたり、知り合った方のつてで集落の取り組みにも参加させていただきました。

落合集落で農大生受け入れ時の昼食づくりを手伝ったり、余所内、大平集落で馬込鮫川会ツアーの昼食づくりの手伝いをしたり、真坂集落の酉小屋の手伝いをしたり、中沢集落では、めん羊で集落営農を始めようとしている取り組みにも関わらせていただいたりしてきました。


大豆などの種子配布（5月）

中でも、中沢集落の方々にはめん羊の研修や、セリに同行させていただいたり、柵づくりや看板づくりを手伝わせていただいたりした中で、「地域で生きる」という姿勢、その難しさ、素晴らしさを学ばせていただきました。

この土地で生きる。この土地を元気にする。結果だけではなくプロセスを共有していくことで、土地を生かして集落を元気にしていく姿を近くで見せていただき、人間は一人では生きていけないのだということを感じることができました。

③役場の手伝い

農林課の「豆で達者な村づくり」関係の仕事や、企画調整課の大学生の農村体験、エゴマ鶏実験飼育、各種イベントの手伝いなど、役場の仕事も手伝わせていただきました。中でも印象に残ったことが「中山間地域等直接支払交付金」の現地確認の仕事に同行したことでした。

例えば、夏は草刈りをすることによって、草で荒れてしまう土地を守っています。でも、村では少子高齢化や過疎化が進み、ピーク時には今の倍の人口で守ってきたものを、現在では生活を営みながら守っていくことが困難になって


ユースカレッジでテーブルづくりに挑戦（10月）

④農家さん手伝い

手・まめ・館生産農家や、大豆生産農家、その他知り合いになった農家さんの手伝いに行かせていただきました。なにぶん、農業ど素人だったので、迷惑だった部分もあったかもしれませんでしたが、一緒にさまざまな作業をし、農家の生活、村のこと、さまざまなことを教えていただき、汗をかかせていただいたのは良い経験でした。

印象的な人は沢山いらっしゃいますが、「どーだい鮎ちゃん、林業は。スケールでかいばい。大学さなんて歩いてらんねーべ。」と笑顔を見せるじいちゃんの言葉が忘れられません。土を耕し続けることで農地を守るという意味では畑も同じですが、世代を超えた林業のスケールの大きさに、ときめきを覚えてしまいました。

3　一年で得たこと、気付いたこと。

「緑のふるさと協力隊は、やってみないとわからない」と、協力隊同期は口をそろえて言っています。事実、この一年を経て、私もそれを強く認識しました。一年という期限付きの時を、協力隊という肩書きを持ちここで過ごし、人生の中で一番人にお世話になりながら、多くの人と出会い、多くの体験をし、多くの視点から「村」を見せてもらってきました。

村に一日いても分からないこと、一生いても気付かないこと、ただ20代そこそこの若者が村に来ただけでは大して何も見えなかったこと、そんなことまでも協力隊の立場がさまざまな視点を与えてくれたおかげで見ることが出来たのではないかと思います。一年いて、得たことは特定の技術や知識ではありません。一年では「知ること」それだけでいっぱいでした。

ただ、それを「知った」人生と「知らない」人生では、今後の歩き方が変わってくると思うのです。そんな自分が知り、感じたいくつかのことを、ここで紹介させていただきたいと思います。

一つは、さまざまな場面で土の大切さに気付いたことです。全てをはぐくんでいるのは土であり、土地です。それを実感できました。夏にきゅうりやナスを塩漬けし、冬に餅や大根を凍みらせ、さまざまな方法で作る保存食は、人がこの地で生きようとしたからこそ生み出されたものです。

「この地」で、「ここ


女子大生を前に村での生活や村づくりなどを説明する大草さん（9月）

ZOOM IN（ズームイン）

緑のふるさと協力隊活動報告

鮫川村×農×大草

にあるもの」で、人が生活を豊かにしようとしたからこそできた、人とこの土地の合同作品だと思います。ある一定期間に多く取れたものを、食べ物が足りない時期に繋いでいく技。漬物や乾物を、今までそういう視点から見たことはありませんでした。

生きるうえでのつながりも意識できました。鶏を潰したとき、自分は他の命をいただいて生きているのだということを強く感じました。鶏を見たことはあります。鶏肉は食べます。頭の中では、生き物と肉のつながりは当たり前に知っている知識であるけれど、個性を持った一匹の動物が肉になるというのはどういうことかを実際に体験することができ、もっと一つの命に感謝して自分の命を生きたいと思うようになりました。

自分の大豆畑に一度だけ農薬を散布したときも同様のことを感じました。農薬は「人体に悪い影響を及ぼす」ことは既知のことではあったけれど、農薬を使うと畑にいた害虫ではないトンボや、かえるや、ハエや、虫や、さまざまなものを殺します。もちろん、農業で生計をたてたわけではない私だからこそ言える甘い意見なのですが、人間は身勝手だと思いました。

勝手に土地でモノを作り、そこに生きる生き物にそれを食べるなと言う。野菜があったからこそ畑で生きる生き物がでてきたのであろうにも関わらず、身勝手に害虫や、それと関係ない虫たちまで殺します。でも、そうして作られているのが自分が食べている野菜であり、その過程を経たものを食べ、自分は生きている。身勝手な人間だと自覚しつつ、野菜だって、多くの命を背負って作られているのだと認識して、もっと感謝して食べたいと思うようになりました。また、試行錯誤の中、安全安心でおいしい野菜を作ろうとしている農家さんにも同様、その苦労と工夫を教えていただき、作っている方々にも感謝して食べたいと思うようになりました。



東京農大生との強滝遊歩道整備作業（7月）

そして、農作業を始めとしてさまざまな活動を通し、抽象的ではあるけれど、一年間を通じて私はこう思うようになりました。

『自分が興味を持ってきた農村文化。自然と密着した文化。それは、脈々と昔から繋がっている中で、人がよりよく「この地」で生きるために、形を変えながら担ってこられたものでした。』高齢の方とお付き合いさせていただくことが多く、大豆栽培や、畑仕事を手伝っていく中で、非常に感じたことがありました。昔は、生きることが大変で、そうした中で培われてきたものが、今の景観であり、文化であり、人付き合いの仕方でありました。

ばあちゃんたちにとって、昔の生活は「この地」で生きるための活動だったのです。だからばあちゃんたちは、モノに感謝し、まぃにモノを作ります。全部繋がりが見えているから。生きる営みが分断されていて、あまりにも「生きる」ことが認識しにくい横浜生活を続けていた私でしたが、生きる営みが分断されているということ



江竜田では自分の大豆畑をつくりました

とにすら気付いていませんでした。

4　そして、今後

そして協力隊生活を経て、私はこの一年で培った、垣間見た、農的生活を大切にしたい。いつかはそういうものを担いたい。と思うようになりました。


大豆集荷作業（12月）

朝梅朝茶は断るな。知らない人にでも「あがらっしょ」と気軽に招き入れる心意気。きのこをハエ取りに。オトギリ草は焼酎付けにして傷口に。フキは噛んで蜂刺されに。山椒はすりこぎ棒。黒文字はつまようじ。こうずの木は紙になる。竹は編んで、籠にして。ワラはもじって、何にでもなる。味噌を自分で作れる暮らし。お酒を自分で仕込める暮らし。自分で作った野菜を食べて、自分で菌を打った、きのこを食べる。この村でじっちぱっぱが当たり前に続けている生活。でも、現代。それだけを追い求めていては生きられないという社会があります。円滑な生活をするためには、何よりもお金が大切です。科学技術だって車だって、今の時代を生きるには不可欠なものだという認識はあります。

おばあちゃんたちが大切にしてきたものを担いたい。ですが、私は単に昔に戻りたいという訳ではありません。だって、いつだって時代は変わっていきます。１００年前のおばあちゃんの知恵と、私が出会ったおばあちゃんの知恵ではきっと大きな違いがある。伝統的だといわれている食の味だって、醤油や味噌の作り方から違うのだから、昔と同じ味なはずはありません。昔にとらわれるのではなく、温故知新の気持ちを大切にしていきたい。そう思うのです。


東京農大の収穫祭では、「手・まめ・館」の商品をＰＲ（11月）

大学の授業で、「人の社会は生態系に根ざした文化から成り立っている。今の時代は、都市の暮らしを始めとして、生態系から人間の暮らしが逸脱してしまっているから、おかしな方向へ進んでいる。行き詰っている。これからは、生態系に根ざした文化に目を向けて、全く新しい価値観が醸成させられる時代となる。」と、言っている先生がいました。ふーん。と思いながら聞いていましたが、村に来て分かりました。そっか。こういうことか。大事なのは。村での暮らしを通して、さまざまな経験を積み、そう思うようになったのです。

仕事で関わる。生活していくうえでそれを担っていく。まだ方法はわからないけれど、いずればあちゃんたちが大切に担ってきた文


協力隊活動報告会（３月13日）

みた村の暮らしは面白かった！それに、万国共通しそうなかっこいい人よりも、村でずっと炭焼きをしていて、それでも満足いく炭をとるのは難しいと笑うじいさまの方が、最高にかっこよく見えました。自分がときめきを覚えた人に習って、自然の中にあるもの、この土地にあるものを大切にして、いつかは土地に根付き、私もそれを担っていけるようになりたいです。

しかし、まだそれをするには早すぎます。社会的知識も、技術も、何も自分は持っていないことは、学生から離れた協力隊生活を経て強く痛感しました。「長く助走をとったほうがより遠くに飛べる。」そんな歌詞を胸に、あと数年は自分を鍛えていきたいと思います。自然と関わりたいという自分の生きたい方向がなんとなく定まりました。

私は、土地を担いたい。そのために、この一年間を糧にして、さらに自分らしく歩いていきたいと思います。

自然と昔、という視点を持って村に来て、特にそれ以外の何を期待していたわけではありませんでした。ですが、その中で農の面白さ、さらには何にも勝る人の温かさを教えてくださったのは出会ってくださった皆さんでした。一年間楽しく過ごせたのも、生活の楽しさを教えてくださった方々がいたからこそでした。

学生に戻り、村を離れますが、この一年かけがえのない時間を共に過ごし、大事なことに気付かせてくれたおばあちゃんおじいちゃんや、集落や、手・まめ・館、役場の方、話をしてくれた全ての方々、鮫川村の全てをこれからも応援していきたいです。

本当に一年間、ありがとうございました！

また遊びに行きます！

よろしくお願いします。



化を私も担って、土地に根付き生きてみたいと思います。

「日本の自給率を上げよう。」「後の世代のために今を繋いでいこう。」「輸入食材が入ってこなくなっても、生きられるようになっておこう。」とそんなこと本気で考えているわけではありません。ただ、それが「面白そうだ」と思ったからです。

視点によって世界は変わります。よくも、悪くも。自分の視点から

1 NEWS

思い出の学び舎を巣立つ

村内小・中学校で卒業証書授与式

村内小・中学校の卒業証書授与式は、鮫川中が三月十三日、青生野小・鮫川小は、二十三日に各校の体育館で行われました。

このうち、鮫川中学校では、六十人（男子二十九人、女子三十一人）の卒業生一人ひとりに、浅賀秀寿校長から卒業証書が手渡され、来賓の大楽村長、阿久津村議会議長、下重三男ＰＴＡ会長からはなむけの言葉が贈られました。また、在校生を代表して戸村侑司くんが送辞を、卒業生を代表して戸室優佳さんが答辞を述べました。

なお、鮫川小（塙馨校長）では四十九人（男子三十三人、女子十六人）、青生野小（安齋好孝校長）では二人（男子一人、女子一人）の児童が卒業を迎え、思い出がたくさんつまった学び舎を巣立ちました。



60人が巣立った鮫川中学校卒業式

2 NEWS

むし歯のない子は5人

2月27日実施の3歳児健診

二月二十七日に村保健センターで実施した三歳児健診（平成十五年九月～十一月生まれ）で、むし歯がなかったお子さんは、受診児十人中五人でした（写真）。

なお、次回の三歳児健診は、五月二十九日（火）の予定で、平成十五年十二月から平成十六年二月までに生まれたお子さんが対象となります。



木村　天音（あまね）ちゃん

①渡瀬字江竜田／②父・弘樹さん、母・靖子さん／③食事の後には必ず歯みがきをして、夜の歯みがきの後は、水、お茶以外は口にしないようにしました。



鈴木　智大（ともひろ）くん

①西山字馬場／②父・幸男さん、母・純子さん／③姉、兄たちよりも早くに歯が生えてきたので、虫歯にならないよう毎日仕上げみがきを頑張っています。



蛭田　樹璃（じゅり）ちゃん

①渡瀬字中山／②父・誠司さん、母・清代枝さん／③歯みがきの絵本やむし歯の絵本を読み聞かせたり、カレンダーに好きなシールを貼るなど意欲付けをしました。

①住所／②両親／③お子さんが虫歯にならないためにがんばったこと



関根　幹（みき）ちゃん

①西山字赤柴／②父・裕治さん、母・幸子さん／③お兄ちゃん、お姉ちゃんのまねをして、歯みがきをしています。嫌がらず仕上げみがきもしています。



中川西　翔太（しょうた）くん

①石井草字大久保／②父・強さん、母・正子さん／③おねえちゃんと「むしバイキンをやっつけろ」と頑張って歯みがきをしています。

3 NEWS
エゴマ鶏を村の特産品に
エゴマ鶏試食会を開催

エゴマ鶏試食会は三月十三日、村公民館で行われました。


エゴマ鶏を使った料理を試食する参加者

試食会には鶏生産農家や関係者など約三十人が参加。村内二か所で実験飼育された「エゴマ鶏（じゅうねんの葉や油をしぼった後の粕を与えた県内産の地鶏）」を使った料理を試食し、エゴマ鶏の特徴や食味などを確認しました。

なお、この事業は、昭和学院短期大学の福永淑子教授をアドバイザーに迎え、エゴマ鶏の肉などを加工した特産品の開発と飼育の普及を目指します。

4 NEWS
思い出たくさんできたよ
チャレンジスクール第8講座・閉校式


もちの丸め方を教えてもらう子どもたち

村公民館事業「チャレンジスクール」第八講座および閉校式は二月二十四日、村公民館で行われました。

小学生約二十五人が参加。講座では、中野長生会の会員が協力し、臼と杵を使ってもちつきを楽しみました。子どもたちは、ついたもちを思い思いに丸め、あんこもちやきな粉もちにして味わいました。

引き続き閉校式が行われ、一年間の活動を振り返りました。

5 NEWS
村での研究の成果を発表
東京農大成果報告会・エコファーマー認証式


農大生による発表が行われた報告会

東京農業大学の研究成果報告会およびエコファーマー認証式は三月二十二日、村公民館で行われました。

報告会は、村内の農地や山林などで研究を行ってきた国際食料情報学部国際農業開発学科の二人が発表。栽培実験などをもとにバイオマスや堆肥の利用など中山間地域の可能性を探りました。併せて同学科の山口武則教授による講演も行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、報告会終了後には、エコファーマー認証式が行われ、新たなエコファーマー三十四人に認定証が交付されました。

6 NEWS
もしものときに備えて
見渡団地で火災防御訓練を実施


防御訓練を行う消防団員ら

平成十九年春季全国火災予防運動に伴う火災防御訓練は、三月四日、赤坂西野字茅地内（見渡団地）で行われました。

訓練は、「団地付近の道路脇より出火し、住宅にも延焼の恐れあり」との想定で、棚倉消防署鮫川分署と村消防団による防御訓練が繰り広げられました。

また、訓練終了後には、地域住民による消火器の取扱講習会が行われ、参加者は真剣に取り組んでいました。

みんなのページ

みんなのページは、
みなさんが参加するページです。
身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
ＴＥＬ　0247-49-3115
ＦＡＸ　0247-49-3363
Eメールアドレス
kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp
企画調整課企画振興係
「広報さめがわ担当」まで

江田　和彦さん
Ｋａｚｕｈｉｋｏ　ＥＤＡ

えだ・かずひこ　●昭和58年７月生まれ。赤坂西野字荻ノ沢在住。ＳＭＣ(株)矢祭工場勤務。趣味は車、バイク、スノーボード。「最近は、人間観察にハマッています。」と笑顔で話す。



村民［随想］リレー ⑮⑤

地元の祭りに参加して

私は、幼稚園から高校まで村内ではなく、他の町へ通っていました。そんなこともあり、私は鮫川村に住んでいながら、地区の行事やイベントに参加したことがありませんでした。

しかし、去年から西野区の青年団に入り、地元の祭りに参加してみました。青年団の方々が楽しそうに、また、一生懸命準備や練習をする姿を見て、地元の行事やイベントに参加し、地域の人たちとの交流を深めることはいいことだし、大切なことだと思いました。当日は、地元の方にもたくさん集まっていただき、祭りは楽しく大成功で終えることができました。このことをきっかけに、私はこれからできるだけ鮫川の行事やイベントに積極的に参加し、村のことをもっと知っていきたいと思いました。そこで知り合った人たちとの出会いを通じて、いろいろなことを学び、同時に鮫川を活気あふれる村にしていきたいと思います。

最後に伝統ある行事やイベントを次の世代に残していくためにも、私たちのような若者に積極的に参加してもらいたいと思います。

■次は、北條隆弘さん(赤坂西野字岫長)にバトンタッチ！

員に提示。／詳細・問い合わせ…福島県土木部空港管理グループ☎024-521-7501

●平成19年度白河地方就職ガイダンス開催　県南地域地場産業振興対策協議会では、白河地方に就職を希望する学生に対し、地元企業の求人情報を提供し、地元の就職を支援するため、次により就職ガイダンスを開催します。日時…５月24日(木)午後２時～４時(受付…午後１時30分～)／場所…ホテルサンルート白河(ＪＲ新白河駅前)／対象者…平成20年３月卒業予定の大学生・短大生・専門学校生／参加企業…未定（開催日直前まで参加を募るため、事前に把握したい方はご連絡ください。）／内容…各企業の人事担当者と学生による個別面談／参加費…無料／問い合わせ…県南地域地場産業振興対策協議会事務局（白河地方広域市町村圏整備組合内)☎0248-22-1145

●福島県就職サポートセンターが移転します　これまで郡山駅前「ビッグアイ」１階の「うつくしまジョブパーク」内で、県などが運営していた「福島県就職サポートセンター」が４月から「ジョブサポートこおりやま」に移転します。／移転後の所在地…〒963-8004郡山市中町10-6ジョブサポートこおりやま(郡山商工会議所駅前大通会館3F)／業務開始日…４月７日(土)午前10時から／その他…ジョブサポートこおりやま施設内には、大学などの卒業予定者に対し就職に関するアドバイスを行う「ふるさと福島就職情報センター」と、働きたい女性に対し内職に関する相談を行う「女性就業郡山相談コーナー」の２つの機関も入ります。／問い合わせ…福島県就職サポートセンター☎024-931-1145(4月7日から)

広報 文芸



うづき
卯月

俳句

ふるさとは講習ひとつ春の星　中井　恒峯
赤提灯ゆれて白河春の月　矢部　正子
豪農を受け継ぐ重み福寿草　斎須　信子
引き出物小さなお重のよもぎ餅　山本　恵子
目を閉じて春の気配の音を聞く　前田　縫子
節分の煎り豆食す孫の口　北條　素人坂
真夜中に猛り狂いの春嵐　黒田　寿香
旧正月父母がいた祖母もいた　鈴木　米子
杉木立煙の如く花粉とぶ　松本　精一
芽水仙長寿運命夢持ちて　小松　ハルエ
ひとしおに母偲ばるる針供養　山本　五十鈴

短歌

なぜ増えるシングルマザーの社会像因果の程は那辺（なへん）にありや　松本　一郎
空眺め思い巡らすも出ぬ言葉歌詠むパワーなかなか湧かぬ　赤坂　朝子
恋猫の声に目覚めて寝付かれず耳を澄ませばふくろうも啼く　鈴木　クニ
あの世には持って行けない金なのに安物ばかり我はあされり　関根　ハナヨ
はるばると歩み来しかな間近なる八十路なる身の行く末思う　北條　平
チエンソー公園づくりの音聞こゆ若き力に夢をたくして　杉山　磯子
店に来て年越しの餅買いたるに置き忘れ来る老のきざしか　田中　志乃
暖冬と雪の中より福寿草今日節分に顔のぞかせる　岡部　シゲ
米寿とは遠い道だと思いしが辿り着いたら案外近い　前田　栄美
それぞれに子等は巣立ちて鮫川のこの山里に二人生きゆく　関根　キヌ子
舘山の頂上（いただき）に立ちて見わたせば心は遥か花園を思う　板橋　源良
機内より望む富士山白雲をまといて空にうかぶがごとし　前田　喜三子
子供等も皆独立し憂い無く暮らしてあれば余裕の老後　鷺野谷　満
孫娘雛様祝って十八年桃の節句に合格の知らせ　藤田　千代子
里は雪早くも作付け計画立てるあそこは大豆こちらは小豆と　森　芳子
凍てつきし月高々と冴え渡り何を語るや各々の家　関根　富久
日常の会話にわれは入れられぬお金の時は爺ちゃんと呼ぶ　関根　一好
月に二度弟妹揃って歓談の機会に生きる老いての今も　坂本　雪絵
寒さ増し老人われのいやな季も夕食に出る一升瓶の笑み　前田　初
太鼓鳴り進むねぶたを背景に皆と撮りたり記念の写真　根本　恵智
子と孫が南会津の奥山に帰りつくまで寒気団よ待て　芳賀　常夫
人としの業を探れば美しき花にみせよと言う声のあり　遠藤　秀
育林に励みて早くも五十年大臣賞に輝く実家の兄は　鈴木　イミ子
住み慣れし故郷を離れ早や三月描く幻も見慣れたる山　蛭田　光江
寒いけど愉悦の一つバイク駆り今日もゆくなりパチンコ店に　本郷　嘉信
小春日和に窓を開きてまどろめば風が運び来うぐいすの声　大平　太平
鉢植えの梅は綻びそのめぐり早くも燃えし春の陽炎　佐藤　春枝
景勝無きわが故郷に二本あるこの国道の光る日を待つ　中島　三次
しくじりは経験不足努力してゆこうかわれの老いたる今も　関根　瑞恵
枯れ地にも生き生きと立つ岩袋恋するような花の色かな　水野　珠子
針に糸通してくれる孫のいて共に暮らせる幸せに浸る　溝井　清乃
妻の遺し味の煮しめを再現し愉しむ夕べは大寒の入り　齊藤　平四
おはようと言うが如しも庭に来て早くも囀る子雀の二羽　鈴木　俊子
花嫁花婿となりたる孫の成人に秘かに送る婆の拍手も　吉田　世津
棒で漕がれ肌も研がれし里芋に味の良さあり膳に上れば　岡部　一
久々に友は来にけりいつもなる福を呼ぶような笑顔を連れて　柿沼　鯉乃
異国にて三八式小銃一丁がわが恋人だった青春の日日　蛭田　浩市

まめ通信 Vol.12 【最終号】

緑のふるさと協力隊・大草鮎子さんの鮫川村体験記です。

1年間ありがとうございました

5月以降、数えるほどしか家の鍵をかけたことのなかった大草です。「よし、完璧！」外泊するときに鍵をかけたことに安心して、帰ってきて気付くと、窓が全開だったことはざらにありました。4月10日に鍵をもらって以来、村で3番目に寒いと噂されるこの家に住み着き、村中を走り回らせていただいてきました。皆様、一年間本当にお世話になりました。

私は自然が好きで、また自然の中で人が織り成す「文化」が好きで、鮫川村にやってきました。自然と密着した文化を「知りたくて」来ました。その後、どうするか、その後、何をしたいのか、明確な目標はありませんでした。しかし、さまざまな人に出会い、じいちゃんばあちゃんと仲良くなり、農を体験する中で、何の仕事をしたいかなどではなく、「どう生きたいか」というものが、だんだん自分の中で定まってきました。今まで大切にされていた繋がりを、自分たちの世代でなくしたくない。自分が興味を持っていたこと、文化や自然、ただ知るだけではなく、私もそれを担う一人になりたい。そのためのツールはまだ分かりませんが、この一年で、自分の人生における、そんな目標を持つことができました。

3月15日をもちまして、久しぶりに家の鍵をかけ、一年を過ごした宿ノ入の住宅を後にします。鍵は、4月から来る3期目の隊員に手渡されます。今度の隊員は男の子です。4月に同じ扉を開け、鮫川で過ごし、次の隊員は何を見て、何を見つけるのでしょうか。

1・2期目同様、心の扉を開けて温かく受け入れてくださることを願っています。帰っても、卒論書くために鮫川にフィールドワークしに来ます！お金がない学生なので、自転車こいでやってきます。鮫川の伝統文化を掘り起こすべく、村を徘徊させていただきますね。見かけたら、声掛けてください。これからもお付き合いさせてください！では、また！（文／大草鮎子）



これ着て明大歩いてきます！

情報の泉

わくわく WAKU-WAKU

案内・募集

●自衛隊幹部候補生募集（大学卒業程度） 募集内容…一般・技術幹部候補生、歯科・薬剤科幹部候補生／申込受付期間…4月1日(日)～5月11日(金)※締切日必着／第1次試験…5月19日（土）／試験会場や受験資格、志願票の請求など詳しくは自衛隊福島地方協力本部までお問い合わせください。／問い合わせ…自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所☎0248-24-0372

●平成19年度1・2級建設機械施工技術検定試験を実施します 対象…建設機械操作施工に従事している者／学科試験日…6月17日（日）／受験手数料…1級・2級ともに10,100円（実地試験は別途手数料が必要です。）／申し込み期限…4月13日(金)まで／問い合わせ…社団法人日本建設機械化協会試験部☎03-3433-6141

●国際線の航空機内への液体物持込制限の導入について 3月1日から国際線の航空機の客室内に持ち込める液体物（ジェルおよびエアゾールを含む）が次のとおり制限されていますのでご注意ください。①あらゆる液体物は、100ミリリットル以下の個々の容器に入れる。②それらの容器を1リットル以下のジッパー付き無色透明プラスチック製袋に余裕をもって入れる。③旅客1人1当たり1袋まで、手荷物検査場において検査トレーへ入れて、検査



なんでも買えるような場所があれば村が賑わうと思います。

ひるた　まこと
蛭田 誠さん（23歳）
［渡瀬字関口在住］

誕生月　昭和58年5月
血液型　O型
星　座　ふたご座
趣　味　ドライブ、音楽鑑賞、ギャンブル、お酒を飲むこと、買物

■仕事はどんなことをしていますか？

製造業の会社員です。主に空気圧機器を作っています。

■仕事で心がけていることはありますか？

忙しくても、良い品質のものを保てるように心がけています。職場の人間関係も大切にしています。

■休日はどんな風に過ごしていますか？

買い物やドライブに出かけたり、友だちと遊んだりしています。

■これからしてチャレンジしてみたいことはなんですか？

これから今の仕事以外にもいろいろなことを勉強して、ゆくゆくは会社を経営してみたいです。早く結婚もしたいですね。

■村に住んでいて感じることや、現在の村についてどう思いますか？

ずっと鮫川村に住んでいるので、特に不便を感じることもなく、好きな村です。

■村に必要なもの、要望などはありますか？

若い人が集まって騒げるような場所や観光スポット、イベントがあればいいですね。それと、１つの場所でなんでも買えるように、村内にショッピングセンターがあればいいですね。そうすれば、村外に買い物に出かけなくてすむし、村が賑わうと思います。

■

次は蛭田智勝さん（渡瀬字田野上在住）の予定です。

学校だより

（第30回）

鮫川中学校 編

浅賀 秀寿校長
生徒173人

中庭が新しく生まれ変わり、「和みの間（なごみのま）」と名づけました。


石を敷きつめた庭

長い間親しまれてきた本校北側の中庭が、写真のように新しく生まれ変わりました。三月十三日に行われた卒業式の日、来賓や保護者の方からは「すごいね、きれいだね」と驚きの声をたくさん頂きました。この庭は、すべて生徒の手作りによってできあがったものです。

最初は、昨年の夏休みのときに当時の生徒会長の戸室優佳さんが、杉の葉やコケ、草に覆われているこの庭を見て、一人で草むしりを始めたのがきっかけでした。鮫川中学校を**「いつでもきれいな学校にしたい。」**という熱い思いからでした。その姿を見て、一人また一人と作業に加わる生徒が出てきました。その意思を、現生徒会長の戸村侑司さんをはじめ、生徒会役員が受け継ぎました。

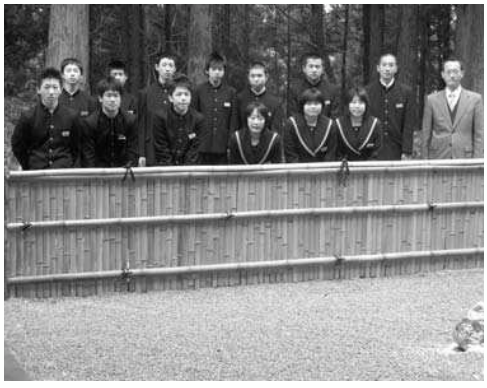
昨年の秋は草むしりと、杉の木の根を引き抜く作業を放課後にこつこつ続け、北風が吹く冷たい冬は、スコップで固くなった土を掘り返し、平らにならし続けました。冷たくなった両手を自分でもみながらの作業でも、「お～い大丈夫か」「大丈夫で～す」と元気な声。卒業式までには完成させたいという一心からでした。二月に入り防草シートを引き、砂利を敷きつめ中庭が完成しました。生徒会は全校生に名前を募集したところ、「この庭を見ると心が和むな」ということから、「和の間」に名前が決まりました。名づけ親は、卒業生の中川西友美さんです。

戸村生徒会長は次のように話しています。

「完成したときはすぐに実感がわきませんでしたが、和の間を見たお客さんが〝すごいね〟とか言っているのを聞いて、僕たちはすごいことをしたんだと思い、すごくうれしくなりました。今は『和の間』つくりに関係してくれた皆さんに、ありがとうという気持でいっぱいです。」

「和の間」は、本校正面玄関から入るとすぐ見えます。

（文・写真　鮫川中学校）


「和みの間」作りに関係した生徒たちと校長先生のワンショット

5／3［木］

鹿角平 春のバーベキュー祭り
■**内容** 通常のバーベキューセット（6人分）のほか、1,500円（1人分）のバーベキューセットも用意（チケット制）。3日は歌謡ショーも開催。
■**申込み** 事務局（鮫川村商工会内）☎0247-49-2171、または鹿角平観光牧場売店☎0247-48-2010へ。

石窯オーブンピザ焼き体験
■**時間** 午前10時30分～午後2時
■**場所** あぶくま自然大学フィールド（赤坂東野字葉貫地内）
■**内容** 石窯を使ったピザ作り体験。先着50組。要予約。春まつりチラシ持参の方はピザ1枚200円割引。
■**料金** ピザ1枚1,200円
主催・予約先／NPO法人あぶくまNSネット ☎0247-48-2508

手・まめ・館 春の味覚と郷土食バイキング
■**時間** 午前11時30分～午後2時
■**場所** 手・まめ・館
※通常の食堂業務は休みます。
主催／村農産物加工・直売所「手・まめ・館」 ☎0247-49-2556

春の里山に木を植えよう
■**場所** ほっとはうす・さめがわ
■**内容** 施設の周りへの記念植樹（先着30人）／体験館開放
■**料金** 無料
主催／村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」 ☎0247-48-2555

鹿角平 宇宙のロマンとの出会い 2007（天体観望会）
■**時間** 午後7時30分～午後9時頃
■**場所** 鹿角平天文台（鹿角平観光牧場内）
■**内容** 「惑星を見よう」をテーマに、木星・土星・月などの観望会を行います。
※天候により中止する場合があります。
■**料金** 無料
主催／鮫川天文愛好会



昨年の春まつりから（上…FMX、下…和太鼓演奏）

5／4［木］

鹿角平 春のバーベキュー祭り
■**内容** 通常のバーベキューセット（6人分）のほか、1,500円（1人分）のバーベキューセットも用意（チケット制）。
■**申込み** 事務局（鮫川村商工会内）☎0247-49-2171、または鹿角平観光牧場売店☎0247-48-2010へ。

鹿角平 和太鼓ライブ
■**時間** 午前10時～午後3時（演奏①午前10時30分～②午後2時30分～）
■**場所** 鹿角平観光牧場
■**内容** 和太鼓演奏、ちびっこコーナー（竹馬、竹とんぼ、シャボン玉、スライムほか）
主催／奥州鮫川太鼓保存会

FMX in さめがわ
■**時間** 午前10時～午後3時
■**場所** モトパーク森（赤坂東野字遠ケ竜地内）
■**内容** フリースタイルモトクロス（デモ）、バンド演奏。村内各団体による売店もあります。※雨天の場合は5日（土）
■**料金** ［前売り（電話予約可）］
一般2,000円、中学生以下1,500円
［当日］※小学生以下無料
一般2,500円、中学生以下2,000円
主催・詳細／FMX in さめがわ実行委員会 ☎0247-49-2626［昼間］ ☎0247-49-2770［夜間・土・日］

手・まめ・館 春の味覚と郷土食バイキング
■**時間** 午前11時30分～午後2時
■**場所** 手・まめ・館
※通常の食堂業務は休みます。
主催／村農産物加工・直売所「手・まめ・館」 ☎0247-49-2556

石窯オーブンピザ焼き体験
■**時間** 午前10時30分～午後2時
■**場所** あぶくま自然大学フィールド（赤坂東野字葉貫地内）
■**内容** 石窯を使ったピザ作り体験。先着50組。要予約。春まつりチラシ持参の方はピザ1枚200円割引。
■**料金** ピザ1枚1,200円
主催・予約先／NPO法人あぶくまNSネット ☎0247-48-2508

春の里山に木を植えよう
■**場所** ほっとはうす・さめがわ
■**内容** 施設の周りへの記念植樹（先着30人）／体験館開放
■**料金** 無料
主催／村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」 ☎0247-48-2555

鹿角平 宇宙のロマンとの出会い 2007（天体観望会）
■**時間** 午後7時30分～午後9時頃
■**場所** 鹿角平天文台（鹿角平観光牧場内）
■**内容** 「惑星を見よう」をテーマに、木星・土星・月などの観望会を行います。
※天候により中止する場合があります。
■**料金** 無料
主催／鮫川天文愛好会

イベント情報

鮫川ふるさと春まつり2007

Spring festival in SAMEGAWA

5月3日［木］～5日［土］

主催／鮫川ふるさとネットワーク委員会
■**問い合わせ**／村企画調整課☎49-3115

5／5［土］

ニジマス釣り天狗好楽会
■**時間** 午前7時～午後3時
■**場所** 鮫川本流（赤坂東野字広畑地内）
■**料金** ［前売り］一般3,000円、会員2,000円 学生（中学生）1,500円
［当日］前売り券の5割増し。小学生は午前10時まで無料（特設釣り場）
■**詳細** 鮫川村商工会 ☎0247-49-2171
主催／鮫川村水産資源保護協会

鹿角平 春のバーベキュー祭り
■**内容** 通常のバーベキューセット（6人分）のほか、1,500円（1人分）のバーベキューセットも用意（チケット制）。
■**申込み** 事務局（鮫川村商工会内）☎0247-49-2171、または鹿角平観光牧場売店☎0247-48-2010へ。

手・まめ・館 春の味覚と郷土食バイキング
■**時間** 午前11時30分～午後2時
■**場所** 手・まめ・館
※通常の食堂業務は休みます。
主催／村農産物加工・直売所「手・まめ・館」 ☎0247-49-2556

手・まめ・館 こども祭り
■**時間** 午前10時～午後2時
■**場所** 手・まめ・館
■**対象** 中学生以下
■**内容** もちつき大会（午前10時～11時・午後1時～2時）／こいのぼりを作ろう（午前10時～午後2時）
■**料金** 無料
主催／村農産物加工・直売所「手・まめ・館」 ☎0247-49-2556

春の里山に木を植えよう
■**場所** ほっとはうす・さめがわ
■**内容** 施設の周りへの記念植樹（先着30人）／体験館開放
■**料金** 無料
主催／村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」 ☎0247-48-2555

Information

くらしの情報 インフォメーション

役場の電話番号

0247-49-3111(代表)

【直通電話番号】

総務課	49-3111
	FAX 49-2651
住民福祉課	
[住民福祉係]	49-3112
[国保健康係]	49-3113
	FAX 49-2651
農林課	49-3114
	FAX 49-2112
企画調整課	49-3115
	FAX 49-3363
地域整備課 [建設係]	49-3116
[環境係]	49-3196
	FAX 49-3363
農業委員会	49-3197
	FAX 49-2112
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
	FAX 49-3152
図書館(FAX兼)	29-1150
公民館	49-2247
農業者トレーニングセンター(FAX兼)	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター(鮫川保育園・鮫川幼稚園)	29-1010
	FAX 29-1012
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ(FAX兼)	48-2555
手・まめ・館	49-2556
	FAX 49-2445

今月の納期
5月1日(火)
軽自動車税 全期

選挙

第16回統一地方選挙

第16回統一地方選挙では、福島県議会議員一般選挙および参議院福島県選出議員補欠選挙、鮫川村議会議員一般選挙が行われます。

私たちの「声」を村政や県政、国政に反映させる大切な選挙です。棄権しないで投票しましょう。

▼福島県議会議員一般選挙
告示日 3月30日(金)
投・開票日 4月8日(日)
投票できる人 昭和62年4月9日までに生まれた人、または平成19年1月4日までに転入した人で選挙人名簿に登録されている人
期日前投票 3月31日(土)～4月7日(土)

▼参議院福島県選出議員補欠選挙
告示日 4月5日(木)
投・開票日 4月22日(日)
投票できる人 昭和62年4月23日までに生まれた人、または平成19年1月4日までに転入した人で選挙人名簿に登録されている人
期日前投票 4月6日(金)～4月21日(土)

▼鮫川村議会議員一般選挙
告示日 4月17日(火)
投・開票日 4月22日(日)
投票できる人 昭和62年4月23日までに生まれた人、または平成19年1月16日までに転入した人で選挙人名簿に登録されている人
期日前投票 4月18日(水)～4月21日(土)

■**問い合わせ** 村選挙管理委員会 ☎49-3111

税務

軽自動車税の減免について

平成19年度軽自動車税の納付書は4月13日発布を予定しています。

軽自動車税については、自動車税(県税)と同様、身体あるいは精神に障害がある方で、一定の要件に該当する場合は、申請により軽自動車税が減免されますので、納期限の5日前(4月26日)までに手続きを済ませてください。

なお、自動車税との併用はできませんのでご注意ください。

詳細については役場総務課税務係へお問い合わせください。

■**問い合わせ** 村総務課税務係 ☎49-3111

環境

浄化槽設置者に補助金を交付します

家庭の台所や風呂などからの生活排水は、河川の水質汚濁の主な原因となっています。

村では、台所や風呂、トイレの排水を同時に処理する「合併処理浄化槽」の設置を推進し、設置者に対し補助金を交付しています。(平成12年から「単独処理浄化槽」の設置はできなくなっています。)

平成19年度の交付枠は20基となっていますので、浄化槽の設置を計画されている方は、お早めにお問い合わせください。

補助限度額(住宅の場合) 5人槽40万円／7人槽60万円

■**申し込み・問い合わせ** 村地域整備課環境係☎49-3196

畜犬登録・狂犬病予防注射を実施します

平成19年度畜犬登録および狂犬病予防注射を行います。

期日 4月24日(火)～27日(金)の4日間(実施場所・時間などについて詳しくは、回覧文書でお知らせします。)

対象 平成19年4月24日現在で、生後91日以上の犬

注意 狂犬病予防注射の集合注射は年1回の実施となりますので、忘れずに受けてください。

■**問い合わせ** 村地域整備課環境係 ☎49-3196

◆お知らせ２

さぎり荘の定休日が変わります

村民保養施設・交流福祉センター「さぎり荘」(広畑)の定休日が４月から変わります。なお、営業時間はこれまでと変わりありません。

定休日　▶**現在**…月曜日、祝日の翌日、年末年始(１月１日～３日、12月29日～31日)▶**変更後**…火曜日(祝日の場合でも休業)、年末年始(１月１日～５日、12月31日)

■**問い合わせ**　さぎり荘☎49-2205、ひだまり荘☎49-3600、村住民福祉課☎49-3112

未登録の銃砲・刀剣類を発見された方は登録を受けてください

未登録の銃砲・刀剣類を発見した場合は、次の手続きをしてください。

発見した場合　①届出…発見した場合は最寄りの警察署に発見届出をしてください。／②登録…登録審査会で登録を受けてください。

所有者を変更した場合や登録証を紛失した場合など　①所有者が変わった場合…県教育委員会に20日以内に所有者変更届を提出／②登録証を紛失した場合…遺失物届を所轄の警察署に提出してから、再交付申請書を県教育委員会に提出し、登録審査会で審査を受ける／③貸付(保管)を委託する場合…貸付(保管)委託届出書を20日以内に県教育委員会に提出

■**問い合わせ**　県教育委員会文化財グループ☎024-521-7787

除籍図書をお譲りします

村図書館では、除籍になった図書を無料で提供する「除籍資料リサイクル」を行いますので、希望される方は図書館にお越しください。

日時　４月４日(水)～７日(土)　午前10時～午後４時

■**問い合わせ**　村教育委員会教育課生涯学習係☎49-2247

朝日山フォトコンテスト開催

主催　朝日山遊歩道をつくる会(堀川信四郎会長)

テーマ　朝日山の四季(春～秋)

撮影場所　朝日山遊歩道および頂上付近(渡瀬字青生野地内)

応募サイズ　キャビネ～四つ切(ワイド可)。フィルムカメラまたはデジタルカメラで撮影したもの。

応募期限　10月31日(水)

応募規定　作品は返却いたしません。作品は応募期間内に撮影されたものとし、入手作品に関するすべての権利は主催者に帰属します。また、応募作品を観光ＰＲ用に使用する場合があります。

賞　最優秀賞、優秀賞、佳作（いずれも賞状および賞金を贈呈します。）

■**詳細・問い合わせ**　村企画調整課☎49-3115

鮫川村街頭犯罪発生状況

棚倉警察署（☎33-3241）

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	0	0
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	0
事務所荒らし	0	0
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	0
無施錠	0	0
ガラス破り	0	0
鍵穴破壊	0	0
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	0	0
部品ねらい	0	0
自動車盗	0	0
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	0	0

発生件数：２月24日～３月23日
累計：１月１日～３月23日

●管内では、車上ねらいの被害が多発しています。車上ねらいは車内に貴重品や現金を置いた車が被害にあっていますので、注意しましょう。

◆いきいき通信

文／村住民福祉課国保健康係　村山通子保健師　☎49-3112

体を動かす習慣づくり～運動などの基準が変わりました～②

桜便りが聞かれる季節となりました。「健康づくり運動基準」（平成元年制定）が、今年度大幅に改定されたことはご存知でしょうか。前回は、メタボリックシンドロームと身体活動の量についてお伝えしましたが、今回はその続きをご紹介します。

「健康づくりのための運動指針２００６（厚生労働省策定）」では、健康づくりのための身体活動量として、「週に23エクササイズ以上の活発な身体活動（運動・生活活動）を行うことを目標にしています。普段、あまり体を動かしていない方は、まずは生活活動を増やすことから始めてみましょう。

■身体活動の目標

メタボリック症候群予防の身体活動の目標値は、「週23エクササイズ」が目安です。平均すると、１日に約３エクササイズの身体活動が必要ですが、そのうち週に１度は４エクササイズの活発な運動やスポーツを取り入れると効果的とされています。

▼３エクササイズの活動例

速足（３メッツ以上）で、１日あたり60分間（歩数にすると８０００歩～１万歩）続け、週に６日行います。活動内容は、道具や準備がなくても手軽にできるウォーキングをおすすめします。１回に８０００～１万歩歩くのが大変だという方は、10分（１０００歩）から始めてみましょう。

▼４エクササイズ(活発な運動)の例

ジョギングやテニスなどのスポーツを35分以上行うのが目安です。自分でできそうなスポーツサークルなどに参加して、活発なスポーツ習慣をつくりましょう。

自分にあった身体活動について詳しく知りたい方は、役場住民福祉課にお問い合わせください。

健康づくりの合言葉は、**「１に運動、２に食事、３に禁煙、最後にクスリ」**で、最も優先されるのが「運動習慣」です。高齢期まで元気に過ごすためには、自分にあった運動と活動の習慣を持つことが大切です。

子どもから高齢者まで、運動に限らず家事や通勤・通学、近所付き合いなどの日常生活で、積極的に体を動かす習慣を身につけましょう。

■身体活動の量と内容（前回の復習）

①身体活動とは…

- **身体活動**　安静にしている状態より多くのエネルギーを消費するすべての動きのこと。
- **運　動**　身体活動のうち、体力の維持・向上を目的として計画的・意図的に実施するもの。
- **生活活動**　身体活動のうち、運動以外のものをいい、職業活動上のものも含む。

②身体活動量の強さは…

メッツ【強さの単位】
身体活動の強さを、安静時の何倍に相当するかで表す単位で、座って安静にしている状態が１メッツ、普通歩行が３メッツに相当する。

エクササイズ（＝メッツ×時）【量の単位】
身体活動の量を表す単位で、身体活動の強度（メッツ）に、身体活動の実施時間（時）をかけたもの。より強い身体活動ほど短い時間で１エクササイズとなる。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎29-1150



君についていこう（向井万起男著、講談社）
ちょっと前の本になりますが、著者の妻、向井千秋さんの知られざる素顔や打上げまでの46日間の裏話など、独特の観察力で描いた心温まる記録です。若い人におすすめ。



いない いない ばあ
（松谷みよ子著、童心社）
赤ちゃんへの読み聞かせ「ブックスタート」は、ものの認知が始まる7か月頃からがよいと言われています。この時期赤ちゃんが一番喜ぶ本で、楽しいです。

火	水	木	金	土
3 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**4** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●保育始業日[こ]	**5** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**6** ●小・中学校入学式、第1学期始業式 ●村体育協会総会	**7**
10 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	**11** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●らっこくらぶ[こ]	**12** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	**13**	**14**
17 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**18** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●らっこくらぶ[こ]	**19** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**20** ●農業委員会総会 ●心配ごと相談… 13:00～15:00[公]	**21**
24 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●畜犬登録・狂犬病予防注射	**25** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●社会復帰支援事業（やまぶきの会）… 10:00～15:00[保] ●らっこくらぶ[こ] ●畜犬登録・狂犬病予防注射	**26** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●畜犬登録・狂犬病予防注射	**27** ●教育委員会臨時会 ●畜犬登録・狂犬病予防注射	**28** ●親子遠足[こ]
5/1 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●軽自動車税納期限 ●図書館休館日	**2** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面）	**3** *憲法記念日* ㊡塙厚生病院（塙町） ☎43-1145 ●図書館休館日 ●ふるさと春まつり	**4** *みどりの日* ㊡大木医院（棚倉町） ☎33-2424 車田病院（塙町） ☎43-1019 ●図書館休館日 ●ふるさと春まつり	**5** *こどもの日* ㊡東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263 東舘診療所（矢祭町） ☎46-3165 ●ふるさと春まつり
8 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**9** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●社会復帰支援事業…（やまぶきの会） 10:00～15:00[保] ●おはなしの森… 16:00～16:30[図]	**10** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**11** ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	**12**

[公]＝公民館　[保]＝保健センター　[図]＝図書館　[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

●お誕生おめでとうございます

（２月届け出分・敬称略）



芳賀（はが） 諒斗（りょうと）・男
平19.2.8生
住所…鍛治平
保護者…省悟・誠子

●おくやみ申し上げます

（２月届け出分・敬称略）

住所	氏名	月日	年齢
大平	関根 静江	2.11	69歳
追木	水野吉三郎	2.15	80歳
寅卯平	舟木 ヨシ	2.23	95歳

●人の動き

3/1現在・（ ）は前月比

人口	4,379人	（－6）
男	2,173人	（－4）
女	2,206人	（－2）
世帯	1,128戸	（＋1）

●寄付・寄贈

（２月受理分・敬称略）

■社会福祉事業のために[金員]…菊地清栄（彦次郎） 本郷臣夫（落合） 関根清（大平） 関根英也（土路部） 水野一美（追木） 舟木勝弥（寅卯平）

■鮫川村奨学基金として[金員]…須藤幸子（遠ケ竜）

■村図書館の図書購入費として[金員]…赤坂博男（木之根） 赤坂中野長生会（水野昭也会長）

自立の村づくり基金への寄付（３月受理分）

■村に現存する施設の維持に関する事業（渡瀬村民体育館・渡瀬広場）…渡瀬中学校昭和37年度卒業還暦祝同級会（赤坂博男会長）



大樂村長に寄付を手渡す還暦祝同級会のみなさん

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●お知らせ

携帯電話の通話エリアが広がりました

鹿角平観光牧場内で行われていた携帯電話の鉄塔建設工事が３月末に完了し、ＮＴＴドコモ（ＦＯＭＡのみ）とａｕ２社の携帯電話の通話が可能となりました。



●編/集/後/記/

■このたびの人事異動により、広報担当を卒業することになりました。この３年間、多くの人たちと出会うことができ、貴重な経験をさせていただくことができました。また、みなさんのご協力によって、毎月広報紙を発行することができました。ありがとうございました。引き続き、後任の広報担当もよろしくお願いいたします。（緑川）

4 生活情報カレンダー 月1日～5月12日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
4/1 ㊡藤田医院（棚倉町）☎33-2013 車田病院（塙町）☎43-1019	2
8 ㊡あらまちクリニック（棚倉町） ☎33-8018 中島医院（塙町）☎43-0373 大野診療所（石川町）☎26-2615 ●福島県議会議員一般選挙投・開票日	9 ●図書館休館日 ●４か月児健診・ＢＣＧ接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院 ●入園式[こ]
15 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町） ☎33-9468 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165	16 ●図書館休館日
22 ㊡杉山胃腸科外科皮膚科（棚倉町） ☎33-7551 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 浅川南診療所（浅川町）☎36-3302 ●参議院福島県選出議員補欠選挙、村議会議員一般選挙投・開票日	23 ●図書館休館日
29 昭和の日 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 石川医院（塙町）☎43-0003	30 振替休日 ㊡勝田医院（棚倉町） ☎33-3008 木村医院（矢祭町） ☎46-3528 ●図書館休館日
6 ㊡藤田医院（棚倉町）☎33-2013 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 富永医院（浅川町）☎36-2027	7 ●図書館休館日

㊡＝休日当番医

TOPICS
話題

サクラ、ツツジなど約1，330本を植栽

舘山公園整備ボランティア作業

舘山公園整備植栽ボランティア作業は三月二十五日、舘山公園内で行われました。

今回のボランティア活動には村内外から約百四十人が参加。はじめに開会式が行われ、大樂村長のあいさつに続き、「もりづくり１００年委員会」の鈴木一良委員長が、「舘山公園の整備は、農村の景観と伝統文化を生かす事業として、村の中心部に位置し歴史ある舘山を、ボランティアのみなさんのご協力により手づくりで整備し、村のシンボルに育てていく事業です。完成の暁には、四季の花が乱れ咲き、村民のやすらぎとふれあいの憩いの公園として末永く続くことを願っています。ボランティアのみなさんに感謝申し上げます。」とあいさつしました。







上・下左…班ごとに場所が決められ、作業はスムーズに進みました。
下右…子どもたちも一生懸命お手伝い。

作業は、あいにくの雨模様の中、ツツジ類やカエデ類、ヤマザクラなどの苗木約千三百三十本を公園内に植栽する作業と、遊歩道の整備作業が行われました。

また、三月二十日には、鮫川中学校の一・二年生による記念植樹も行われ、生徒や先生方など百二十人が参加。

全員で公園内の整地作業を行った後、オオムラサキツツジやレンゲツツジなどの苗木約二百十本が丁寧に植えられました。





上・下…公園の整備と記念植樹を行う中学生

広報 さめがわ　No.636［平成19年４月1日発行］
■発行・編集／福島県鮫川村役場企画調整課　〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５　■TEL 0247-49-3115
■FAX 0247-49-3363　■ホームページ http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/　■Eメール　kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp